

1 題材名

『やあ やあ われこそは』 <6年 社会科 歴史的分野>
～鎌倉武士の戦いの仕方を甲冑や武具から考える～

2 授業のねらい

- ①本年度NHKの大河ドラマ「鎌倉殿の13人」では源頼朝や北条義時が取り上げられて、鎌倉時代の武士が今脚光を浴びています。その中でも鎌倉時代は、武士同士が戦いを繰り広げた時代です。この学習では、鎌倉時代の武士はどのような戦い方をしていたのかに焦点を当てて考えていきます。
- ②当館が所蔵している甲冑を可能な範囲で資料として活用していきたいと思っています。当館の甲冑を通して、児童に鎌倉武士の戦いを具体的にイメージさせたいと思っています。
- ③平安時代末期から戦国時代に至る歴史の中で、武士の戦いの仕方も大きく変わりました。その変化を捉えながら、時代と共に移り変わっていく歴史学習の面白さを感じてもらいたいと思います。

3 指導計画上の位置付け

- ◇学習指導要領社会科6年 内容 (2) 日本の歴史 ア(エ)「源平の戦い」と関連します。
- ◇千葉市6年社会科指導計画 9月単元「武士の世の中へ」の『源氏と平氏が戦う』と関連します。
- ◇東京書籍6年社会科教科書 「武士の世の中へ」の『調べる 源氏と平氏が戦う』と関連した1時間の学習です。

4 予想される授業の流れと指導資料

- ①「平家物語絵巻」の図より、鎌倉時代の武士はどのような甲冑を身に付けて、どのような戦い方をしていたのか、甲冑・馬・弓矢等に焦点を当てて写真や資料から読み取ります。
- ②当館から持ち込んだ甲冑を紹介して可能な範囲で授業に活用したり、甲冑の拡大図を示したりしながら、鎌倉武士は甲冑を着てどのような戦い方をしていたのか、具体的に感じてもらいたいと思います。
- ③鎌倉時代の代表的な武具である、弓と矢について資料から読み取ります。
- ④当館「クローズアップ鎌倉武士」を活用して、源氏軍の白旗と平家軍の赤旗に分かれ、役割を決めて「やあやあ、われこそは～」と名のって合戦の正義を主張し合う「^{ことばたたかい}言葉戦い」を行う。また、当時の武将として千葉市の成立と深いかわりがある千葉常胤を紹介します。
- ⑤「平家物語絵巻」と、戦国時代の「長篠合戦図屏風」を比べて、戦う人の数や武具の違いを読み取り戦い方の変化について気づいたことをワークシートに記入して発表します。

<活用する資料>

- ◎「クローズアップ鎌倉武士」(当館発行ブックレット)
- ◎「平家物語絵巻」
- ◎甲冑や兜(当館收藏品)
- ◎弓矢の資料
- ◎「長篠合戦屏風」(当館展示物)

5 指導上の留意点、その他

- ◇当館の甲冑や武具を使ってどのような活動ができるかは、学校の希望も含めて事前に十分話し合いながら、歴史学習の面白さを児童に感じてもらいたいと思っています。
- ◇「戦うこと」を美化することがないように配慮して、武士が歴史の表舞台に登場する歴史的な意味を考えていきたいと思っています。
- ◇学習のまとめとして千葉市の成立と深いかわりがある千葉常胤を鎌倉時代の武将として取り上げて、千葉市の歴史に対して興味関心も高めていけたらと考えています。